

1月

ランチニュース

令和2年1月
 大府市教育委員会

あけましておめでとうございます。新しい一年の始まりです。今年もランチニュースで、食に関するさまざまな情報をお伝えしていきます。

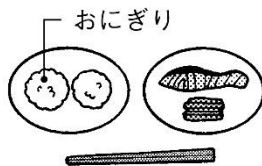
学校給食週間とは

1月24日から30日は、「全国学校給食週間」です。毎年、全国で、学校給食への理解や関心を高めることを目的に行われています。

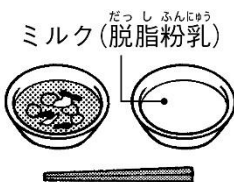


学校給食の歴史

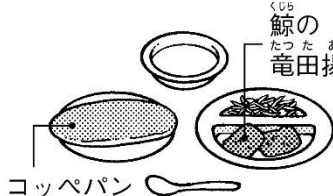
明治22年 (130年前)



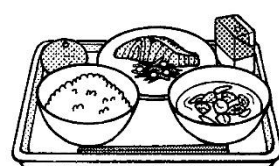
昭和22年 (70年前)



昭和27年 (65年前)



現在



学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で貧しい家庭の子どもたちに、無償で昼食を出したのが始まりとされています。当時の献立は、塩さけ、おにぎり、漬物などだったといわれます。その後、戦争により中断していましたが、外国の援助を受けてパンや脱脂粉乳などが給食として提供されました。

現在の学校給食は、成長期の子どもたちに必要な栄養を提供することに加え、子どもたちが望ましい食習慣を身に付けられるよう、「食育の教材」としての役割も担っています。

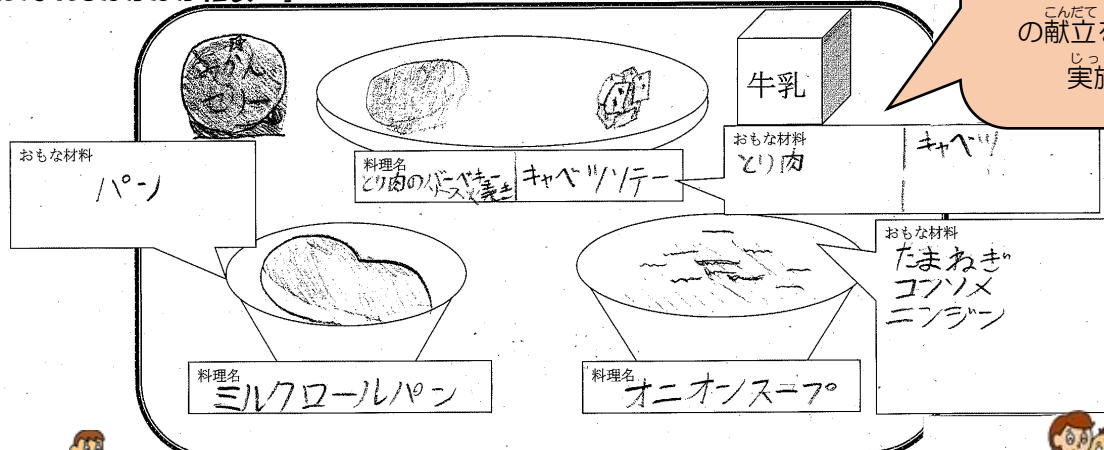
この機会に改めて「食」の役割や大切さについて考えてみませんか。

令和元年度神田小学校募集献立

テーマ

「寒さのかべを乗り越えろ！
 笑顔あふれるほかほか給食！」

応募総数128点の中から
 給食委員会が選んだ
 5年2組 鷹羽亜実さん
 の献立を30日(木)に
 実施します。



毎月19日は「食育の日 ～おうちでごはんの日～」です。



※給食実施日の2日前（土日祝日は除く）の午前9時までに欠食連絡があった場合は、欠食とし給食費をいただきません。